



おでたま

OTEDAMA CLUB IN JAPAN



たくさんの人々に愛読されている写真絵本『お手玉』



米谷和之氏撮影

・保谷市
弓山悦子さんから

- 絵本「お手玉」 愛媛出版文化賞を受賞
- 絵本「お手玉」 厚生省中央児童福祉審議会推薦文化財に選ばれる
- 絵本「お手玉」 愛媛出版文化賞の受賞祝賀会
- 日本のお手玉の会のあゆみ
 - ・ 日本のお手玉の会の活動
 - ふるさとづくり振興奨励賞受賞
 - ・ 広がるお手玉遊び大会
- 支部だより
 - 世田谷支部
 - 東京倶楽部
- 飯田市の篠田啓子顧問が長野オリンピックで活躍
- 第六回全国お手玉遊び大会の報告
- 第七回全国お手玉遊び大会の子告
- 第五回ハワイ遠征・ロサンゼルス遠征について
- 日本のお手玉の会ホームページ

愛媛出版文化賞の受賞祝賀会

一〇〇人が参加して受賞を祝う



▲愛媛新聞社今井社長のメッセージを伝える文化部長井上三郎さん

写真絵本「お手玉」の愛媛出版文化賞受賞を記念して、平成一〇年二月七日、リーガロイヤルホテル新居浜で、祝賀会を開催しました。祝賀会には、伊藤新居浜市長、小野衆議院議員、愛媛新聞社の井上文化部長をはじめ、文芸堂の金森編集顧問、文をご担当いただいた大西先生、そのほか、日ごろお世話様になっている各種団体や企業の代表者の方々、新居浜アメニティ倶楽部および日本のお手玉の会の会員の皆様など、一〇〇人が参加して受賞を祝ってくださいました。

ご参加いただけなかった、各界の方々、全国のお手玉の会の皆様からは、多数の祝電をいただきました。各テーブルでは、お手玉の普及活動を振り返りながら、また、写真絵本「お手玉」のでき映えや、反響などを語りながら、楽しいひとときを過ごしました。

最後に、新居浜アメニティ倶楽部の伊藤パーバラさんから、「これからも、新居浜から全国、世界に向けて、お手玉遊びの普及を呼びかけていきましょう。そのためにも、「お手玉」の英語版が発行されることを願っています。

厚生省中央児童福祉審議会の推薦も

写真絵本「お手玉」は、平成九年一月、厚生省中央児童福祉審議会の推薦図書として「推薦文化財」の選定を受けました。これは、児童の健全教育に役立つよい本、および児童福祉の観点から、ぜひ父母に読んでほしい本を推薦するもので、私どもの発行の趣旨に沿った、たいへんありがたい選定ということができます。

今回は、三、〇〇〇冊の中から八〇冊が選定されたと聞いております。

「います」と、英語と日本語でのメッセージが述べられ、会を閉じました。

祝電 メッセージ

(敬称略)

梅の香と受賞を祝う今日ともに
東京都 宮中 雲子

愛媛出版文化賞、受賞おめでとうございます。

遠い東京から拍手喝采です。一人でも多くの方に、お手玉に親しんでいただくよう、ともに頑張りましょう。

世田谷区 小泉 珠子

愛媛出版文化賞のご受賞おめでとうございます。

私ども奈良市音声館でも「お手玉」の本は大変重宝しています。賞会のみますますのご発展をお祈り申し上げます。

奈良市音声館館長 荒井 敦子

明るくてとてもきれいなお手玉の本が出版できてうれしいところへ、出版文化賞受賞とは喜び二重。

大津市 田中 邦子

いいお仕事をなさいましたね。文化の足跡がわかるのでしよう。高校のクラブができたのもすばらしいことです。

世界的にも進歩の共通化をいわれる中にお手玉も入るのでしようね。多くの人の興味をひく本になることを願っています。

町田市 青木 孝

受賞祝賀会 (平成10年 2月17日)



▲熱のこもったあいさつをする松山の栗田さん



▲余興で披露はやはり「お手玉」



▲居もはげむ参加者たち

選ばれました！

絵本『お手玉』愛媛出版文化賞を受賞

厚生省中央児童福祉審議会の推薦文化財



▲「愛媛新聞社」提供

▲平成9年10月7日
朝日新聞



▼平成9年8月29日読売新聞

▲平成9年8月29日
愛媛新聞

写真絵本「お手玉」は、日本のお手玉の会監修、児童文学作家・大西伝一郎先生の文により、文芸堂から昨年九月に出版されました。この「お手玉」が、愛媛の文化振興のために優れた出版物を顕彰する、第一三回愛媛出版文化賞を受賞しました。

出版文化賞は、公益信託愛媛出版文化賞基金運営委員会が選定するもので、今回は、九九点の応募作品の中から、特別賞一点、各部門賞六点が選ばれました。「お手玉」は、第五部門「文化全般」に属し、応募三四点の中から、「小さな偉大な詩人たち」とともに部門賞を受賞したものです。「お手玉」選考の理由を、選定委員は次のようにいっています。

「お手玉の作り方や遊び方、歴史などをカラー写真や図解するなど、丁寧な編集で紹介している。お手玉の教科書といえるものである。忘れかけの遊びお手玉は、手から心へぬくもりを伝え、手軽に楽しめる。現代人が失いつつあるものを取り戻す何かを持っている。

また、会が収集した米、英、仏などのお手玉を紹介。お手玉のルーツともいえる奈良時代の「石名取玉（いしなとり

だま）」「火取水取玉（ひとりみずとりだま）」、お手玉遊びを描いたボンベイの壁画などを収録し、貴重な資料的要素もある。

新居浜市に本部を置く日本のお手玉の会が、忘れられようとしているお手玉の復活を願って出した三二ページの小品だが、郷土の伝承遊びの文化を後世に残し、さらに、愛媛の地から世界へと発信する中身の重い書である。」

写真絵本だけに、写真家の田尾忠士氏が撮影された写真は、二千枚を越えました。実技指導の藤田石根副会長のもと、会員の皆さんにモデルになっていただきました。文をご担当いただいた大西先生、編集・発行をお願いした文芸堂殿が、徹夜に次ぐ徹夜でまとめ上げ、凸版印刷殿がお盆を返上して印刷・製本に頑張っていたいただきました。こうした善意と熱意で、「お手玉」は誕生しました。

おかげさまで、全国の多くのお手玉ファンに愛され、すでに五刷目が発行されています。これからも、会員の皆様から友人、知人にお勧めいただき、お手玉遊びが日本の隅々まで、さらには、世界の国々に普及するようにご協力をお願いいたします。

このたびは「お手玉」の本をいただきありがとうございます。今年正月にボンベイに行き廃墟を見学してきましたので、「お手玉の歴史」を興味深く読ませていただきました。

今後さらに「お手玉の会」の輪が広がっていくのを楽しみにしています。

横浜市 富岡 惟中

第一三回愛媛出版文化賞のご受賞誠にありがとうございます。

郷土に根ざす文化発信活動の賜物と深く敬意を表しますとともにこれを契機として、今後ますますのご活動と貴会のご隆盛を祈念申し上げます。

新居浜市長 伊藤 武志

「お手玉」の愛媛出版文化賞ご受賞を心からお慶び申し上げますとともに、日本のお手玉の会のみならず、ご発展をお祈り致します。

南海放送運営相談役

門田 圭三

この度のご受賞、心よりお祝い申し上げます。さらに日々の言葉による世界の本に発展させて下さい。

愛媛新聞社高松支社長

松友 武昭

日本のお手玉の会のおゆみ



トピックス1 ふるさとづくり 振興奨励賞受賞 あしたの日本を創る協会から

日本のお手玉の会は、あしたの日本を創る協会(本部・東京)から、平成九年度「ふるさとづくり振興奨励賞」を受賞しました。伝達式は、平成一〇年二月一七日、新居浜市住民活動推進大会の席上で行われ、賞状とクリスタルガラスの盾が、大会長の伊藤武志新居浜市長から手渡されました。

この受賞は、長年にわたる会員の皆様、各支部の皆さんの活動、新居浜市内の各ボランティア団体の皆様のご協力のおかげであり、深く感謝しています。

「ふるさとづくり賞」は、個性豊かで、潤いのある地域社会づくりに取り組んでいる、優れた「集団」・「市町村」・「個人」の三部門を顕彰するとともに、その活動に学び、ふるさとづくり運動を普及・拡大するために実施しているものです。

当会は、平成七年度の愛媛県コミュニティ推進協議会「ふるさとづくり優秀賞」を受賞しており、年を追って、高いレベルの賞を受賞していることになりました。次は、内閣総理大臣賞、内閣官房長官賞を目指してがんばりましょう。

広がる各地のお手玉遊び大会

トピックス2

めざせー!お手玉の達人
八幡市(京都府)で講習会を開く

京都府八幡(やわた)市の男山(おとこやま)文化ホールで、平成一〇年二月二日、市立図書館の主催で「めざせー!お手玉の達人」という呼びかけによる、お手玉教室が開かれ、お孫さんづれのおばあさん、お子さんと一緒に若いお母さん約五〇人が集まった。講師として、日本のお手玉の会から藤田副会長ら四人が参加。

八幡市立図書館では、写真絵本「お手玉」を二〇世ご購入いただいたが、それが市民に大変な反響があり、いつも貸し出ししているありさま。そこで、この人気にちなみ、市民の皆さんに、実際にお手玉遊びを体験していただく、講習会が開かれた。

お手玉の会の指導により、幼稚園児や小学生のお子さん、そしてお母さん、おばあちゃんが、真剣な中にも無邪気に、しかも笑顔でお手玉遊びを楽しんだ。

片道一時間の道のりを、歩いて訪ねてこられた、八〇歳のおばあちゃんもいて、その関心の深さに、主催者も、会員も身の引き締まる思いだった。



近江町で「お手玉遊び大会」
福祉大会の一環として開催

滋賀県坂田郡近江町で、平成一〇年二月二日、地域福祉センターやすらぎハウスで、福祉大会の一環として第六回お手玉遊び大会が行われた。日本のお手玉の会にもご招待があり、会長、副会長など四人が参加し、交流を深めた。

お手玉の競技は、五人一組の団体戦で、五人のうち一人は小学生を入れるルールになっている。これは、練習の段階から世代を超えた交流を図るのがねらい。その他のルールは、全国大会と同じ要領で進められた。

参加した三〇チームは、家族や近所同士のチームが多く、どのチームも、おばあちゃん、お母さん、お父さん、それにお子さんによるなごやかな対戦がにつき、会場には、笑顔と歓声がみぎわぎわだった。



お手玉の会
市立図書館で
開かれた講習会

平成10年2月22日

八幡市立図書館主催の「めざせー!お手玉の達人」講習会が、男山文化ホールで開かれた。お孫さんづれのおばあさん、お子さんと一緒に若いお母さん約五〇人が集まった。講師として、日本のお手玉の会から藤田副会長ら四人が参加。八幡市立図書館では、写真絵本「お手玉」を二〇世ご購入いただいたが、それが市民に大変な反響があり、いつも貸し出ししているありさま。そこで、この人気にちなみ、市民の皆さんに、実際にお手玉遊びを体験していただく、講習会が開かれた。

京都読賣

支部だより

子供たちも大活躍



世田谷支部
支部長 石井 玲子

の遊び・手作りおもちゃ」の中に、お手玉遊びをいれていただきました。

私達、世田谷支部は、平成九年八月四日二〇名で発足いたしました。

手作りお手玉を皆さんに知っていたらと、まず地域のセンターで講習会を開きました。昨年、一〇月、十一月、五回にわたり、Dホーム弦巻（老人のリハビリをする会場）でお手玉遊びをいたしました。車椅子の人、右手のきかない人など様々な方達と、皆さんで声を一緒に出して、お手玉をいたしました。最初は、とても暗い顔をして居っていた人も表情がだんだん明るくなって、最後はみんな一緒に楽しく過ごすことができました。

また、今年一月、二月と二回の講習会を開きました。二月二三日、地元の松丘小学一年生全員百名と、お父様、お母様方と一緒に、体育館で開催した「昔

いつもメンバーの人達五、六名は来ていただき、お手玉の達人の方に皆さんの前でやっていただき、「お手玉ってこんな遊びも出来るんだよ」という事を披露していただきました。子供達はキヤアーキヤアー大よろこび、父兄の方も一緒に参加していただき、大成功でした。校長先生から大変よろこばれ、「手作りの心のこもった、こんなすばらしいものを、もっと伝えていきたいですね」と言っていたいただきました。小学校には六一〇個ほど贈呈させていただきました。

あちらこちらに二〇〇個ほど贈呈することができました。これも、メンバー皆様のご協力のおかげです。

その中で、四歳の姫子さんが、お手玉の遊びを自分で考えて、夢中で遊んでいるのを見た叔母さんが、「これはすごい事だ。



お手玉ってこんな遊びも出来るんだよ

今、子供達はゲームだのパソコンで、このすばらしい遊びを知らないようだ。自分はこれから毎日一個ずつ縫って施設に送ろうと思ひ、毎日縫っている」というお話を聞き、本当にうれしく思いました。

今後、私達、日本のお手玉の会で、手づくりの心のかよったお手玉を作りつけ、多くの輪を広げて参りたいと思います。メンバー以外の方もたくさん縫って下さることに感謝でいっぱいです。

お知らせ

東京倶楽部・世田谷支部
～ワークショップ参加者募集～
「授ける；NA・GE・RU」をテーマに楽しいものを企画しました。
日時：平成10年4月29日（祝）～5月5日（祝）
会場：くりっく（世田谷生活情報センター生活工房）

新しい顧問紹介



大西伝一郎氏

児童文学作家

略歴

- ・昭和10年 西条市に生まれる
- ・昭和32年 玉川大学文学部卒業
- ・平成7年 新居浜市中萩小学校校長
- ・昭和34年より作家椋鳩十に師事し、読書活動と創作活動を行い、現在に至る

現在

- ・日本児童文学者協会会員
- ・評議員、日本子どもの本研究会会員

主要著書

- ・「僻地教師の記録」「カウソは生きている」「赤い灯台」他多数



門田 圭三氏

南海放送取締役常任相談役

略歴

- ・大正3年 松山市に生まれる
- ・昭和13年 東京帝国大学法学部卒業
- ・昭和53年 南海放送㈱代表取締役社長

現在の公職

- 愛媛経済同友会特別幹事
- 日本レクレーション協会理事
- 愛媛県社会福祉協議会会長
- 他

表彰

- 昭和53年文部大臣表彰
- 昭和59年愛媛県教育文化賞
- 平成7年愛媛県功労賞
- 他

「ならまち…」が団体戦で優勝を飾る

お手玉ロボット(新居浜高専作)に人気が集まる

第6回全国お手玉遊び大会「24時間テレビ」に



▲ユニフォームを揃えての参加チームもありました。(遠くは長野県からも)



▲上位決定戦は力ベに向かつて



▲日本テレビ24時間テレビで実況



▲団体戦は年毎に白熱!!
チームの技術もレベルの高く!!



▲子どもたちの参加も増えてます

第六回全国お手玉遊び大会は、平成九年八月二四日(日)、リッパロイヤルホテル新居浜で開催されました。参加選手は二〇都府県から延べ八〇五人を数え、観衆の皆さんは、〇〇〇人へのぼりました。

大会は、二三のボランティア団体による実行委員会と日本のお手玉の会の主催、日本財団、新居浜市、新居浜アムニティ倶楽部ほかの共催で開催されました。

今大会では、お手玉競技の団体戦、個人戦に加えて、「お手玉遊園地」「いろいろな遊びコーナー」、ジャグラーのマサヒロ木野の「お手玉ショー」、新居浜工業高等専門学校製作による「お手玉ロボット」の登場、新居浜少年少女合唱団による「お手玉歌メドレー」な

ど、幅の広い厚みのある催しとなりました。また今回は、南海放送により日本テレビの「24時間テレビ」で全国中継されました。

個人戦は、三二八人が参加したが、回を越つて技術が向上し、レベルの高い試合が展開された。なかでも、一般の部で小学生の活躍が目立ち、四種目中、二位までに三人の小学生が入る好成績を納めた。小学生の部は、今回から対手三割ゆりが増わり、こちらも激戦となった。

また、団体戦は、一般の部に過去最高の八〇チームが参加。最後は、四年の上位チームの争いとなり、白熱した試合が展開された。優勝は昨年準優勝の「ならまちわらべうたフェスタ」で、準優勝は

「桂流丸」、敢闘賞は「ひよっこ」となった。小学生の部は、七チームが参加。こちらも、レベルの高い試合となった。

「お手玉遊園地」は、スペースを拡大し、おもちゃ図書館しゃぼんボールの協力により、相やかな楽しいコーナーとなった。「いろいろな遊びコーナー」は、折り紙けん玉、まりつき、竹芸し、相撲人形づくりなどに、幼児からお年寄りまで、たくさんの方が参加した。また、新居浜工業高等専門学校から提供のお手玉ロボット、「おてだマシーン」は、終始人の輪ができていた。三割ゆりを上手に演じ、日本のお手玉の会の認定書

を受け、三割に認定された。「24時間テレビ」は、南海放送の企画により黒装束のイタリ人が参加。一斉にお手玉をゆった後、会場を照明を消すと参加者が手にした蛍光灯を消したお手玉が、「24」の文字となったと表れた。その文字がゆれはじめてと、会場はもとより、本会場の武道館の観衆からどよめきが起こった。

マサヒロ木野による「お手玉ショー」も、会場をわかせた。新居浜少年少女合唱団の合唱は、オープニングの「お手玉歌メドレー」と、ファイナルの「赤トンボ」が披露された。とくに「赤トンボ」は会場全員の大会唱となり、再会を誓い、手を握り合いながら、大会の幕を閉じた。

個人戦、団体戦の上位入賞者は次のとおり。

上位入賞者・チーム

(敬称略)

団体戦 (一般の部)

- 優勝 ならまちわらべうたフェスタチーム (奈良市)
準優勝 広流丸Aチーム (愛媛県松山町)
敢闘賞 ひよっこチーム (広島市)

団体戦 (小学生の部)

- 優勝 神郷アップルチーム (新居浜市神郷小)
準優勝 タマゴッチチーム (新居浜市金栄小)
敢闘賞 ポバイチーム (新居浜市金栄小)

個人戦 (一般・両手4個の部)

- 優勝 山内サヨコ (新居浜市)
準優勝 木村 一恵 (広島市)
敢闘賞 谷ノ内キヌエ (伊予市)

個人戦 (一般・ジャグリングの部)

- 優勝 松浦 昭洋 (奈良市)
準優勝 久門 結子 (新居浜市)
敢闘賞 日野加奈子 (新居浜市)

個人戦 (一般・片手2個の部)

- 優勝 松浦 昭洋 (奈良市)
準優勝 今村シメ子 (新居浜市)
敢闘賞 大木イワエ (徳島県勝浦町)

個人戦 (一般・両手3個の部)

- 優勝 殿川 早苗 (徳島県勝浦町)
準優勝 加藤喜佐子 (新居浜市)
敢闘賞 本藤 民子 (新居浜市)

個人戦 (小学生・片手2個の部)

- 優勝 久門 結子 (新居浜市・6年生)
準優勝 川原 康代 (西条市・6年生)
敢闘賞 日野加奈子 (新居浜市・6年生)

個人戦 (小学生・両手3個の部)

- 優勝 木村 一恵 (広島市・5年生)
準優勝 光詰 詩生 (京都府・6年生)
敢闘賞 日野加奈子 (新居浜市・6年生)

「まつりインハワイ」の日程が決まる

6月11日(木)から6月16日(火)

5度目を迎える「まつりインハワイ」への参加は、今年は、6月11日(木)から6月16日(火)の6日間と決まりました。

今回は、パレード、日本文化の集い(お手玉教室)のほかに、施設訪問による「お手玉交流」が予定されています。前回までとは異なった、現地の人々との暖かいふれあいができます。

さわやかな南国ハワイの観光、日系の人々や各国の人たちとのふれあい、ハワイ支部の人たちとの交流など、これらの体験は通常の旅行では得ることのできないものです。これまでに参加された方も、初めての方も、お手玉を持ってハワイに行ってみませんか。きっとすばらしい感動の思い出を作ることができると思います。

詳しいスケジュールは、添付資料のとおりです。ご検討の上、多数の会員の皆様のご参加をお待ちしております。

ロスのジャパン・エキスポからもお誘い

11月26日(木)から12月3日(木)

このほど、ロサンゼルスに本部を置く、ユウエス・ジャパン・ネットワークから、19回目を迎える「ユウエス・ジャパン・エキスポ」へのお誘いが、日本のお手玉の会にありました。このイベントは、日本の産業と文化を、アメリカ国民や日系の人々に紹介するもので、日本の団体が主催する室内イベントとしては、全米第一位の集客数となっています。

このエキスポ会場で、日本の伝統文化の一つであるお手玉の紹介や、遊び方の指導、技の披露により、地元の人々と混じり合っ楽しんで、日米親善に役立てたいというものです。ほかに、ロサンゼルス近郊の老人ホームや県人会を訪問し、お手玉を通じての慰問も計画されることになっています。

ハワイに次いで、海外活動の拠点とするため、一度、訪ねてみたいと思っています。参加ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

▶飯田おしなこの会の後援者として
長野五輪参加選手とお手玉で交流
会を行いました。



平成9年12月 長野オリンピック白馬会場国際ユースキャンプ交流会のおける専任アドバイザーとして委嘱される。

活動内容: 2月 白馬高等学校第一体育館にておしなごコーナーを設置。お手玉と写真パネルの展示や遊び方を指導し、国際交流をはかった。飯田さんのホームページ <http://www.caravan.net/yayu/>

第七回全国お手玉遊び大会 (予告)

日時 平成十年九月二十三日(水)

秋分の日

場所 愛媛県新居浜市

リーガロイヤルホテル新居浜

日本のお手玉の会の
ホームページです!

URL:<http://www.shikoku.ne.jp/otedama/>



日本のお手玉の会

日本のお手玉の会会員募集中!

年会費 3,000円



発行・編集

日本のお手玉の会 会報編集委員会

〒792 愛媛県新居浜市庄内町1-13-14 TEL・FAX/0897-36-0600

E-mail: tamachan@otedama.shikoku.ne.jp